

W データ転記規則

2022-09-12 修正 (2022-02-17 の誤用訂正のまとめの反映)

2022-08-16 確認

2021-09-15 改訂

2020-10-22 版

・目次

一文一行

転記するとき、原則、に書き換える。

・例外は、一人称代名詞 I と固有名詞の語頭の大文字

行末は、のいずれかをつける。

・ピリオドの付け忘れの場合も、転記の際に . をつける。

「一文一行」の「文」は T-unit (「c-unit」という呼び方もある)

・等位接続詞 (and, but, or) でつながっている場合は、分ける。

・前の文の終わりには

・等位接続詞 (and, but, or) で始まる次の文の文頭の接続詞は小文字のままとする。

・主語と動詞を含むをつなぐ場合のこと

・名詞や名詞句をつなぐ場合は、別の行にはいけない。

複文の場合は、従属節は主節と合わせて一文とする。

例

I like dogs, because they are cute.

している (前の文が . で終わり、従属接続詞が大文字で書いてある) 場合、「従属節」はそのまま独立した一文としてあつかう。

例

I like dogs. Because they are cute.

・従属接続詞 (because, when, if など) の語頭を小文字に書き換える。

文が途中で切れて終わっている場合 (とみなして) +... で行をおえる

例

And I like

句読点

句読点は基本的に書いてある通り、転記の際に一般的な習慣に従って入力

例

First. I like dogs. Second. I like cats.

「引用符カギカッコ」は "ダブルクォート" に置換

単語の繰り返し

強調のために連続して very very good という場合は、意図的な表現なので、繰り返しのマークはしない。

書き間違いとして、繰り返してしまっていると思われる場合は、話し言葉と同様に繰り返しをマーク。

- ・書き言葉ではあまり想定できないが、実際あった場合、

I I like cats.

誤用訂正（間違いをすべて訂正するのではなく、「実在しない単語」だけ、できるだけ「訂正情報」を付けておく。）

理解できない部分

読めない部分（単語でも複数の単語でも）は、 xxx

- ・部分的に読めても単語として理解不能なものもそれ全体を xxx

実在しない英単語で「正しい単語」が推測できるものは「訂正」しておく

直後に [: 正しい単語] [*] の形で訂正を表記

I woren't [: didn't wear] [*] a coat .

I gived [: gave] [*] to bat and gloves .

綴り間違い

綴り間違いは、間違っている部分を < > で囲み、

- ・英単語をカタカナで書いている場合も含む

正しい綴りを、スペース一つ置き、その後ろに [:] で明記（コロンの後ろスペースあり）

I like <kat> [: cat] .

大文字小文字の間違いは転記の際に、正しい形に訂正して書いておく

- ・大文字小文字の間違いは、分析対象としないので。

- ・訂正したことは明記しなくてよい。

日本語や記号が書いてある場合

英単語以外の日本語（ローマ字も含む）や記号が書いてある場合は、[]で囲んでおく

例

I スタディ at Engris. I eat a lot of おかし .

日本語の固有名詞のローマ字はそのまま（[] 等もつけない）

- ・以下の例のように、書いてあるままでよい。

日本語で文全体が書いてある場合は、文全体を [] で囲む。

:例: I change heart. For example happy and sad. as わからない気持ちになります。走り出したいと立ち止まっていたいような
楽しみだけど不安ではがゆい感情です。